

# 横手南中学校 情報活用能力育成のための年間計画 [4月～9月]

		第1学年						第2学年						第3学年						
月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
国語	単元名	情報化社会を生きる			情報活用能力			b 1 : ウェブ検索			単元名	魅力的な提案をしよう			情報活用能力			c 7 : 取捨選択		
		「図書館とインターネット、それぞれのメリットは何か。」というテーマで調査と発表の学習を行う。その際、情報の集め方や信頼性の確かめ方、引用の際の注意点など、情報を扱う上での基礎的な知識を身につける。						資料を示してプレゼンテーションをする活動を行う。提案内容を決めて、情報を集める際、複数の情報を比較し、必要なものを選んでスライドにまとめることができる。						同一の題材に対する内容の異なる新聞記事を読み比べ、事例の取り上げ方や立場、印象の違いなどに注意して読む学習を行う。その際、共通点や相違点を明確にし、観点に則して整理することで、文章を批判的に読むことができる。						
社会	単元名	アジア州			情報活用能力			a 8 : 情報の分類			単元名	日本の様々な地域			情報活用能力			b 6 : 受け手の意識		
		アジア州の経済について、アジア州を細かく分けて調査活動を行う。地域ごとに「経済発展した理由」と「課題」をマトリックスを用いて表すことができる。						単元で学習した日本の地域的特色を、「自然環境」・「人口」・「資源・エネルギーと産業」・「交通・通信」の4つの面から捉え整理し、説明する。その際、自分の考えが伝わるように資料を見せながら、そこから根拠付けて説明できる。						第一次世界大戦から第二次世界大戦までの大きな流れを振り返り、「戦争へのターニングポイントは何か」について考える。その際、「世界の流れ」と「日本の流れ」のどちらかを選択し、授業支援ソフトでステップチャートを作成することで、明確な根拠を見つけ、理由を含めてチャージングポイントをグループや全体に発表することができる。						
数学	単元名	3章 方程式			情報活用能力			a 7 : 読み取り			単元名	1次関数			情報活用能力			a 7 : 読み取り		
		速さ・時間・道のりの関係を確認する場面において、表やグラフから必要な数値を正確に読み取ることができる。その際、グラフを動的に同時に見ることにより、グラフから動きをイメージしたり、読み取ったりすることができる。						表やグラフから必要な情報や数値を正確に読み取るようにする。その際、グラフと図形等を動的に同時に見ることにより、グラフから動きをイメージしたり読み取ったりできる。						関数 $y = ax^2$ を既習の関数と比較する学習を行い、表やグラフから必要な情報や数値を正確に読み取る。その際、グラフを動的に同時に見ることにより、グラフから動きをイメージしたり読み取ったりすることができる。						
理科	単元名	いろいろな生物とその共通点			情報活用能力			a 8 : 情報の分類			単元名	動物のからだのつくりとはたらき			情報活用能力			a 9 : 物事の分解		
		タブレットのシート上に取り込んだ植物や動物等の写真を動かしながら、それぞれの特徴や性質に基づいた仲間分けをすることで、情報を整理し、分類することができる。						だ液によるデンプンの変化を調べるために条件を選択して実験を行い、それらの結果を比較してだ液の働きを見つけることができる。						電池の中で起きている化学変化の流れが分かるようにWBを活用して説明する様子を動画で撮影する活動を通して、電池の中での化学変化について伝達内容を順序立てて構成し発表できる。						
音楽	単元名	曲想の変化を味わおう			情報活用能力			c 1 : 物事の分解			単元名	管弦楽の響きや楽曲の構造を理解し、曲想を味わおう			情報活用能力			b 6 : 受け手の意識		
		ヴィヴァルディの「春」を場面ごとに分割した音源をもとに、ソネットと音楽の結びつきや楽曲の形式に注目して聴くことができる						「交響曲第5番ハ短調」の音色や楽曲の構造に着目して聴き、気に入った部分に関する紹介文を作成する。その際、気に入った部分の音源を選択し、ノートに貼り付け、相手に分かりやすいように説明することができる。						スメタナの「ブルタバ」を場面ごとに分割した音源をもとに、標題と音楽の結びつきや楽曲の背景をもとにして何度でも聴くことができる。						
美術	単元名	ようこそ 石先輩			情報活用能力			b 9 : 口頭発表			単元名	一つ目のモンスター			情報活用能力			b 1 : ウェブ検索 b 9 : 口頭発表		
		作品鑑賞会で、自分の作品を撮影したものを、タブレットの学習支援ソフトの機能を有効に活用して、発表できる。						○目の表現をウェブの画像を参考に工夫することができる。(b 1) ○作品鑑賞会で、自分の作品を撮影したものを、タブレットの学習支援ソフトの機能を有効に活用して発表することができる。(b 9)						○自分の興味のある素材の画像を検索し、表現に生かすことができる。(b 1) ○自分の姿を効果的なスケールにトリミングするなどの編集ができる。(a 2)						
保体	単元名	球技 バレーボール			情報活用能力			a 6 : 学習計画			単元名	球技 ソフトボール			情報活用能力			b 5 : 創造		
		バレーボールにおけるボールのつなぎ方の特徴を動画によって捉え、自チームの課題と改善点、解決方法を考える。						個人技能の習得場面において、投動作や打撃動作について調べたポイントや動画を比較したり、グループで話し合ったりすることができる。						自分たちが考えた作戦が機能しているかどうかを、映像等で分析し、他グループとの交流を通して改善を図ることができる。						
技家	単元名	材料と加工の技術			情報活用能力			b 1 : ウェブ検索 b 5 : 創造			単元名	スマイル住まい			情報活用能力			b 5 : 創造 a 6 : 学習計画		
		身のまわりにある材料を調べるために、飲み物の容器に着目し、「ペットボトル」「紙パック」「びん」「缶」それぞれの特長をweb検索し、まとめる。それぞれの特長を比較する話し合いを通して、その材料が使われている理由を理解する。						住まいの安全に関わる基本的な概念を理解する。家庭や地域における身近な課題を取り上げ、意見交換しながらその内容を検討し、見いだした課題に対する解決方法を考え、実践に生かすことができる。						自分の食生活の課題や自由課題を解決する弁当献立を考える際に、その条件に合う食材を使った献立を探し、検討しながら活用することができる。						
英語	単元名	Stage Activity1 "All about Me" Poster			情報活用能力			a 8 : 情報の分類			単元名	A trip to Singapore			情報活用能力			b 3 : 表現の工夫		
		先輩や教わっていない先生にも自分を知ってもらうために、自己紹介ポスターを作り、写真や文のレイアウトを考え、伝わりやすさを意識した見やすいものにさせる。						シンガポール旅行の予定表を作成し、それを基にクラスメイトやALTに紹介するために、Keynote等でスライドを作成する。その際、魅力が伝わるように写真や図や語句のレイアウトを考え、見やすくわかりやすいプレゼンテーションを作成できる。						英語の俳句の特徴を読み取り、英語の俳句を作成する。その際、Keynote等を活用して、情景や思いが伝わるように写真や文章の効果的なレイアウトを考え、工夫することができる。						

# 横手南中学校 情報活用能力育成のための年間計画 [10月～12月]

		第1学年						第2学年						第3学年							
月		10月		11月		12月		10月		11月		12月		10月		11月		12月			
国語	単元名	「大好き」を語ろう～構成を工夫して話す～		情報活用能力		b 6：受け手の意識		単元名	多様な方法で情報を集めよう		情報活用能力		b 7：伝達内容の構成		単元名	文章の種類を選んで書こう		情報活用能力		b 3：表現の工夫	
		自分の好きなことをスピーチで紹介し合う学習を行う。その際、相手にとっての「わかりやすさ」「印象深さ」を意識した構成を考えて、効果的に書いたり話したりすることができる。						職場体験学習後に、職業ガイドを作る活動を行う。伝えたい事柄が読み手に伝わるように、写真や図を用いたりして、わかりやすくまとめて、作成することができる。						修学旅行後に、旅行記を編集する活動を行う。伝えたい内容にふさわしい文章の形態を選ぶこと、写真や図表など文章以外の素材との組み合わせの工夫、レイアウトの工夫などに気をつけて編集することができる。							
社会	単元名	ユーランアの動きと武士の政治の台頭		情報活用能力		a 9：物事の分解		単元名	日本の諸地域		情報活用能力		a 7：読み取り		単元名	地方自治と私たち		情報活用能力		b 9：口頭発表	
		鎌倉幕府と室町幕府の仕組みを比較して、共通点と相違点から武家政権の特徴を説明することができる。						各地方に関する諸資料（分布図やグラフなど）から必要な情報を読み取り、各地方の特色や課題を見いだすことができる。						地方公共団体の課題について、経産省のRE S A Sを活用して有用な情報を収集し分析する。また、プレゼンテーションソフトを活用して、分かったことを分かりやすくまとめ、発表することができる。							
数学	単元名	比例と反比例		情報活用能力		a 7：グラフの読み取り		単元名	平行と合同		情報活用能力		b 6：表現の工夫		単元名	相似な図形		情報活用能力		b 8:評価と改善	
		比例のグラフを利用して、問題を解決する場面において、グラフのどこを見てどのように読み取ったのか説明できる。その際、グラフを重ねたり、動かして見ることにより視覚的に捉えることができる。						合同条件が成り立っていることを、タブレットを利用して対応する辺や角を示し、根拠を明らかにしながら説明できる。						相似な図形の証明を行うときに、根拠を明らかにして説明したり、伝えたいことが受け手にきちんと伝わっているか、自分の発表の仕方を振り返ることができる。							
理科	単元名	力の世界		情報活用能力		b 2：データの傾向		単元名	気象の観測		情報活用能力		b7：伝達内容の構成		単元名	運動とエネルギー		情報活用能力		b 2：データの傾向	
		ばねを引く力とばねののびの関係について実験を行い、実験結果を表計算アプリに入力、グラフを作成してその傾向を把握する。その際、セルへのデータの入力、グラフの作成の仕方、x軸、y軸の項目の入力、データの近似直線の挿入ができる。						水蒸気が水滴に変わる条件を調べる実験を行い、その結果や考察について写真や図を用いて説明できるようにわかりやすくまとめることができる。						物体の質量や高さ、速さを変化させると、物体が木片に対してする仕事の大きさがどのように変化するか実験を行い、その結果を表計算ソフトを活用してグラフにして表し、それぞれの要素とエネルギーの関係を見いだすことができる。							
音楽	単元名	曲想と音楽の構造との関わりを理解して「魔王」の魅力を楽しむ		情報活用能力		a 9：物事の分解		単元名	オペラに親しみ、その音楽を楽しむ		情報活用能力		b 5：創造		単元名	箏の特徴を感じ取り、和楽器の響きを楽しむ		情報活用能力		b 8：評価と改善	
		「魔王」の登場人物ごとの強弱、調性、歌い方の特徴を、グループで話し合ってみつける。その際、グループで共有した学習シートに付箋を貼り付けることで、思考を広げ、さらに比較・整理することで、楽曲のおもしろさを共有することができる。						オペラが音楽・文学・演劇・舞踊・美術が密接に関わっている総合芸術であることを踏まえて、それぞれの関わりが生み出すよさや美しさを話し合うことができる。						箏のしくみや奏法について学び、友達同士で演奏を撮影し合い、動画として保存してシートに貼り付ける。その動画を活用することで、自分の演奏を客観的に聴き改善点を見つめることができるとともに、さらに技能を高めようとするすることができる。							
美術	単元名	切り子のコースター		情報活用能力		b 3：表現の工夫		単元名	〇〇チップスのデザイン		情報活用能力		b 1：ウェブ検索		単元名	季節を彩る文様～カレンダーを作ろう～		情報活用能力		b 3：表現の工夫	
		メタモジクラスルームの描画機能を使って、文様を作り、コースターのデザインを考える事ができる。						キャラクターを考える際に、インターネットで画像を検索し、参考にすることができる。						キーノートの描画機能を使って、文様を作り、カレンダーのデザインを考えることができる。							
保体	単元名	柔道		情報活用能力		b 5：創造		単元名	武道		情報活用能力		b 6：受け手の意識		単元名	器械運動（マット運動・跳び箱運動）		情報活用能力		a 6：学習計画	
		映像教材と自身の動画との比較、また話し合いによって、よりスムーズな技のおこない方を模索する。他との動きの違いから、それぞれの特徴や課題を見いだす。						自己の課題について、思考し判断したことを、言葉や文章などで表したり、他者に分かりやすく伝えたりする。						選択した種目の中で自分の課題を解決するための学習計画を考え、技の出来映えを高めることができる。							
技家	単元名	私たちの衣生活		情報活用能力		a3:ウェブ検索		単元名	エネルギー変換の技術		情報活用能力		a8:情報の分類		単元名	情報の技術		情報活用能力		b5:受け手の意識 c:情報セキュリティ	
		日本の伝統的な文様や、織物・染め物の意味や由来を調べてまとめ、日本の衣文化を理解し、継承する大切さに気付くことができる。						家庭生活で利用している電気製品や屋内配線等のしくみを考え、実験、実習を通して実際の回路を作成することができる。その動作結果をもとに、電気回路図にかき表すことができる。						身近に起きている情報セキュリティ、情報モラル上のトラブルを知り、それらの予防や対処方法を調べる。調べた内容をスライドにまとめ、共有しながら、今後の自分自身の活用を考える。							
英語	単元名	Unit7 Foreign Artists in Japan		情報活用能力		b 3：表現の工夫		単元名	Research and Presentation		情報活用能力		b7：伝達内容の構成		単元名	Stage Activity Discover Japan		情報活用能力		b6：受け手の意識	
		自分で選んだ教科書のキャラクターや有名人について、スリーヒントクイズを作る。その際、見やすさを考えて、写真と文のレイアウトを工夫することができる。						調査項目を設定し、学級でその調査結果を発表し合うために、KeynoteやNumbersを活用する。その際、見やすくわかりやすい発表ができるよう、表やグラフ、写真や図などを用い、構成を工夫することができる。						外国の方に日本の魅力を知ってもらうためのパンフレットを作成する。郷土の文化や伝統などについて、資料を活用したり、表現を工夫したりして相手に伝わりやすくまとめることができる。							



# 横手南中学校 情報活用能力育成のための年間計画 [1月～3月]

		第1学年						第2学年						第3学年							
月		1月		2月		3月		1月		2月		3月		1月		2月		3月			
国語	単元名	学びを振り返る～私がつかんだ国語の力～		情報活用能力		b 9 : 口頭発表		単元名	国語の学びを振り返ろう		情報活用能力		b 5 : 創造		単元名	自分の「生き方」を見つける		情報活用能力		a 8 : 情報の分類	
		一年間の国語学習で印象的だった事柄の中から振り返る観点を選び、国語学習を振り返って気付いたことをプレゼンする学習を行う。その際に、写真や図表などの素材の使い方や、構成の仕方やレイアウトを工夫して発表をプレゼンすることができる。						国語学習を振り返り、国語を学ぶ意義について壁新聞を作成する活動を行う。他の人の意見と比べたり、話し合いを通して考えたりしたことを記事として組み合わせ編集することができる。						他者の考え、ものの見方、関連図書を参考にして、自分の「生き方」についての考えを明確にし、伝え合う学習を行う。その際、思考ツールを活用して考えを整理して発表することができる。							
社会	単元名	南アメリカ州		情報活用能力		a 4 : 情報の関連づけ		単元名	開国と近代日本の歩み		情報活用能力		b 3 : 表現の工夫		単元名	より良い社会を目指して		情報活用能力		b7:伝達内容の構成	
		南アメリカ州の航空写真から森林面積の変化を捉え、さとうきび畑の分布変化やバイオエタノールの生産量の資料と関連付けて考察することができる。						日本の近代化について、学習した日本の出来事と世界の出来事とを結び付け、近代前半の日本と世界のつながりをウェビングマップや表に見やすくまとめることができる。						持続可能な社会を実現するために、自分ができていることを考え、提言の裏付けにできることを調べ、収集した情報をまとめ表やグラフを作成したり、写真や図を用いたりして、スライド等にわかりやすくまとめて発表することができる。							
数学	単元名	データの分析と活用		情報活用能力		a 8 : 情報の分類		単元名	データの比較		情報活用能力		b5:比較検討		単元名	三平方の定理		情報活用能力		b 5 : 創造	
		目的に応じて必要な数値や情報を読み取り、表やグラフに整理して表すことで、よりよい方法を分析することができる。						探索的データ分析を経験することを通して、箱ひげ図やヒストグラムのそれぞれのよさや違いを考えたり、それを用いて説明したり判断したりすることができる。						図形に適切な補助線を引くことにより直角三角形を見だし、三平方の定理を活用して長さや面積を求める方法について、メタモジクラスルームのグループ学習ページを使い、話し合いを行い、考えを深めることができる。							
理科	単元名	大地の変化		情報活用能力		b 1 : ウェブ検索		単元名	電流の性質		情報活用能力		a8:情報の分類		単元名	地球と宇宙		情報活用能力		b 5 : 創造	
		ウェブ検索やgoogleEarth、GoogleStreetviewを用いて、国内外の特徴的な地形を発見し、観察することができる。						電圧と電流の関係を調べる実験を行い、その結果をタブレットを利用してグラフに表すことができる。						星の一日の動きや、天体の1年の動きについて、星座表などのシミュレーションアプリを活用して、その見かけの変化が生じる原因や傾向について互いに説明し合うことができる。							
音楽	単元名	雅楽「越天楽」に親しもう		情報活用能力		b 1 : 取捨選択		単元名	歌舞伎に親しみ、その音楽を味わおう		情報活用能力		b 4 : メモ		単元名	曲のよさをプレゼンテーションしよう		情報活用能力		b 4 : 伝達内容の構成	
		「越天楽」の鑑賞をする事前学習として、雅楽の歴史や使用される楽器などを調べ、写真も入れながらシートにまとめる活動を通して、その後の「越天楽」の学習をする際の課題設定に役立てることができる。						歌舞伎の音楽に親しみ、そのよさを考え共有する場面において、相手の考えを必要に応じてメモにとることによって、楽曲に対する感じ方や考え方を深めることができる。						ムソルグスキーの組曲「展覧会の絵」の中から1曲選んで、自分なりにその曲の特徴や良さをとらえ、それを聞き手が理解できるように伝える手段として、タブレットで資料を作成し、プレゼンテーションすることができる。							
美術	単元名	鑑賞：俵屋宗達「風神雷神」		情報活用能力		b 5 : 創造		単元名	鑑賞：マグリット「大家族」		情報活用能力		b 5 : 創造		単元名	鑑賞：ピカソ「ゲルニカ」		情報活用能力		b 5 : 創造	
		全体で気づいたことを発表した後、メタモジクラスルームのグループ学習ページを使い、話し合いを行い、考えを広げることができる。						全体で気づいたことを発表した後、メタモジクラスルームのグループ学習ページを使い、話し合いを行い、考えを深めることができる。						全体で気づいたことを発表した後、メタモジクラスルームのグループ学習ページを使い、話し合いを行い、考えを深めることができる。							
保体	単元名	柔道		情報活用能力		b 5 : 創造		単元名	球技(卓球、バドミントン)		情報活用能力		a 6 : 学習計画		単元名	競技(ゴール型・ネット型)		情報活用能力		a 9 : 物事の分解	
		固め技、投げ技の基本的概念や仕組みを画像によって理解する。また、仲間との意見交換によって、各々の課題と解決方法を見出し、適した練習方法を構築する。						ネット型スポーツ(バドミントン、卓球)において、ラリーを継続したり、攻防したりするための課題を発見し、その解決に向け適切な練習方法を選ぶことができる。						ゲーム中心の活動の中で、自己やチームの課題に合わせて、いろいろな方法で情報を探し、それを実際の動きと比較して活用することができる。							
技家	単元名	健康を考えた食生活		情報活用能力		b6:受け手の意識		単元名	情報の技術		情報活用能力		a5:問題解決の手順 c1:情報技術の将来		単元名	情報の技術		情報活用能力		a5:問題解決の手順 c1:情報技術の将来	
		食品群別摂取量の目安や食品の概量を基に、1日に必要な食品の種類や量を把握する。それを踏まえて、工夫して1日分の献立を作成し、その献立にした理由を説明することができる。						生活や社会の問題を見つけて、情報の技術で解決することができる課題を設定する。課題解決に向けて、情報処理の手順を考えながら、プログラムの作成および修正、評価することができる。						生活や社会の問題を見つけて、情報の技術で解決することができる課題を設定する。課題解決に向けて、情報処理の手順を考えながら、プログラムの作成および修正、評価することができる。							
英語	単元名	Stage Activity3 "My Favorite Event This Year"		情報活用能力		b 6 : 受け手の意識		単元名	My Favorite Place in Our Town		情報活用能力		b9 : 口頭発表		単元名	Stage Activity Let's Have a Mini Debate		情報活用能力		b7:伝達内容の構成 b8:評価と改善	
		思い出に残った学校行事について、聞いている人に自分の考えが伝わるように写真などの資料を活用するなど、表現を工夫することができる。						ALTの先生に自分の町のおすすめの場所や、その場所の情報を伝えるために、インターネットやKeynoteを活用する。その際、わかりやすく、より詳しい内容で伝えることができるよう、調べた情報を分析・考察し、必要に応じた端末の活用ができる。						主張とその理由を明確にしながら英語でディベートを行う。論理的・多面的に考え、説得力のある伝え方を学習する活動を通して、表やグラフを作成したり、図を用いたりして、分かりやすくまとめる力を高める。また、ジャッジによる判定や聞き手による相互評価を行い、発表の仕方を振り返ることができる。							